

第8回佐久市地域公共交通確保維持改善協議会 会議録

日時：平成24年2月6日（月）

10:30～11:30

場所：佐久市役所 8階大会議室

1 開会

2 あいさつ

3 報告事項

千曲バス運行路線「望月小諸線」「山手線」の廃止申し入れの対応について

- ・質疑、意見等 特になし

4 協議事項

(1) 佐久市生活交通ネットワーク計画（素案）について

- ・事務局より資料説明
- ・質疑、意見等

委員	飛び地の岩水地区に対する考え方はどのようになっているか。
事務局	現在も市内巡回バスでバス停を配置して運行している。今後もデマンドタクシーとして対応していくものとしたい。
委員	利用する側が面倒くさいことの無いように周知徹底していただきたい。
事務局	周知等に関しては、10月からの運行に向け十分に行っていきたいと考えている。
委員	路線バスの運賃が距離制となっているが、定額とするとどの程度の費用がかかるのか。できれば統一して欲しい。鉄道駅周辺整備についても、方向性を示して欲しい。
事務局	運賃について、バス事業者の自主路線バスについては、基本的にバス事業者に決めていただくこととしている。国等からの補助が入っている路線や他の市や町にまたがる路線もあり、単に市内だけ200円にすることは難しい。他市町に関連する路線については、今後、関係する市や町との協議も必要と考えている。駅周辺整備に関しては、必要性を判断し順じっていくものであり、ご要望等があればお寄せいただきたいと思います。
委員	山手線について、佐久病院まで行く便は何本あるのか。
事務局	山手線の基本的な運行区間は、八幡から野沢バスセンターまでの路線となる。望月から八幡は中仙道線、野沢バスセンターから佐久病院は佐久上田線と接続していただくようになる。なお、乗り継ぎのダイヤの接続などは、今後、バス事業者と調整させていただきたい。
委員	是非、望月から佐久病院への乗り入れを確保していただきたい。
事務局	今回の考え方の背景には、非常に利用者数が少ないことによる路線の廃止申し入れがなされたことがあり、市としては、バス事業者が運行しない区間を担うものである。バス事業者の路線バスと同じ区間を市が走らせてしまうと、バス事業者が運行する路線に影響するため、今回は八幡から野沢バスセンターの運行とすることとした。ただし、今後は継続的な利用状況等の把握により修正をかけていくものである。

委員	<p>長野市などでは、民間のバスも一定のゾーン内は定額で、そこから先は距離制となっている。そのような調査・検討も行って欲しい。また、200円という運賃は1路線のものなのか。乗り継いだ場合はどのようになるか。さらにフリーパスなどは現段階でどのように考えているか。</p>
事務局	<p>基本的には、1路線で200円と考えている。乗り継ぎの場合等については、フリーパス等のソフト施策の中で、今後検討していきたい。</p>
委員	<p>利用者にとって複雑になると使いづらいと思うので、高齢者や障がい者などにも分かりやすいように配慮して欲しい。</p>
委員	<p>今の意見と同じで、使いやすいものになるように配慮して欲しい。 浅科線の御牧原とデマンドタクシーの御牧原はどのように違うのか。</p>
事務局	<p>浅科地区の御牧原については巡回バス、望月地区の御牧原についてはデマンドタクシーとなっており、経路が異なるものである。</p>
委員	<p>浅科の住民がデマンドタクシーを使えるのか。</p>
事務局	<p>望月御牧原のデマンドタクシーは浅科からは距離が離れてしまうが、使うことは可能である。</p>
委員	<p>スクール専用バスの台数、大きさはどのようになっているのか。</p>
事務局	<p>スクール専用バスは、岩村田小学校、岸野小学校、野沢中学校でそれぞれ1台。また、路線バスの中でスクール専用としているものは、内山線、大沢線でそれぞれ1便、布施線、春日線湯沢、春日線岩下でそれぞれ朝夕2便、望月地区の御牧原、観音寺、長者原でもスクール専用がある。車両は、人数により、小型・中型バスなどをお願いしている。合計13台となっている。</p>
委員	<p>今回の資料と説明等でスクールバスの混乗が難しいことは理解したが、将来的には地域の方とも相談しながら検討して行っていただきたい。 高齢者の方は乗り換えというものが非常に大変である。このことを踏まえ、より良いものにして行っていただきたい。</p>
事務局	<p>市ががんばってどんなに良い計画を作っても、地元の方が利用しないと生きてこない。このため、地区懇談会などで、公共交通を利用してもらわないと困るなどの説明をしてもいいのではないかと思う。 スクールバスの混乗や、バスの乗り換えについては、頂いた意見を踏まえ状況を見ながら今後も対応を考えていきたい。バス事業者との調整も必要となってくる。 公共交通は乗っていただかないと維持は難しく、地区懇談会などではそのようなこともお伝えしていきたいと思う。</p>

5 その他

6 閉会